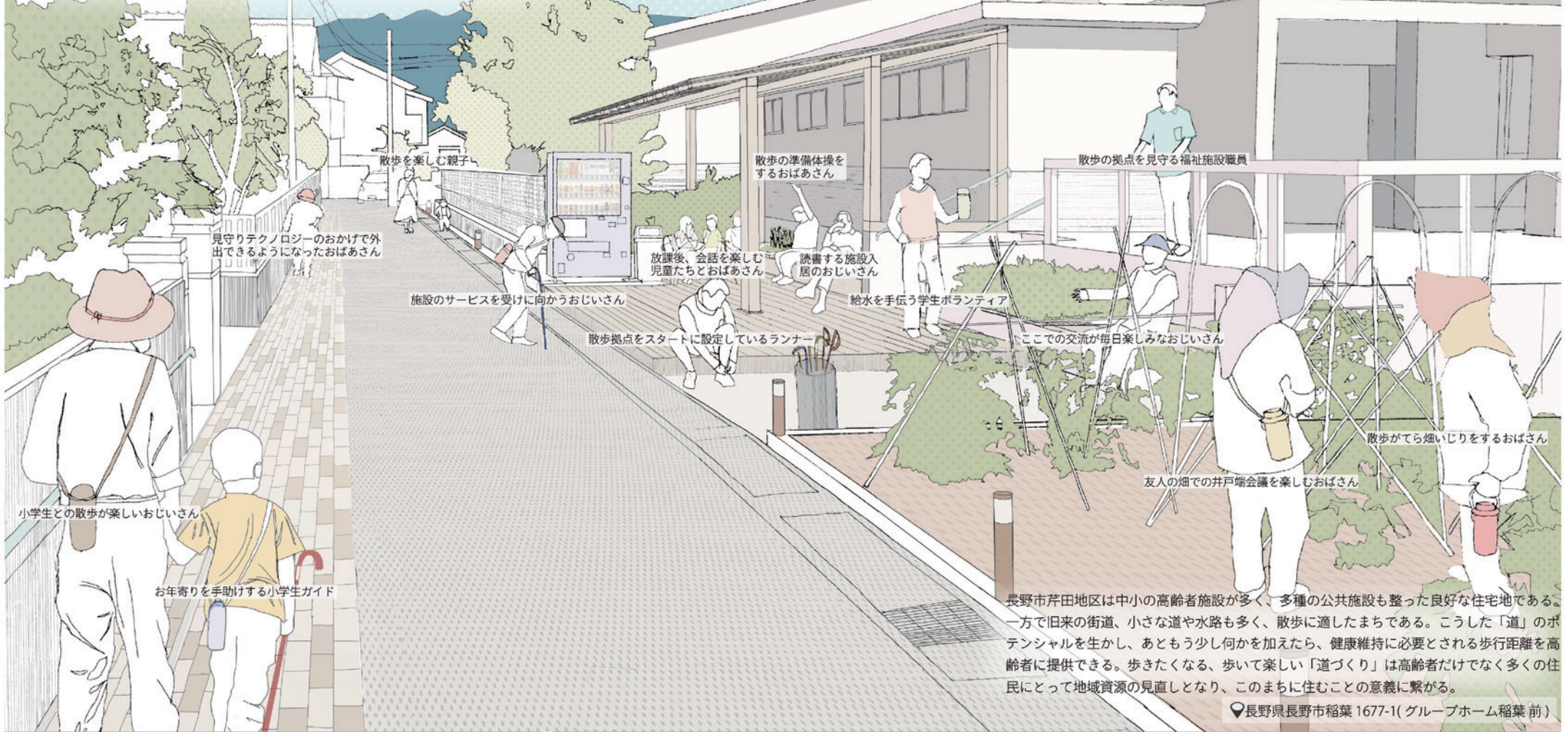


Walkable SERITA

～長野市芹田地区散歩道ネットワーク～



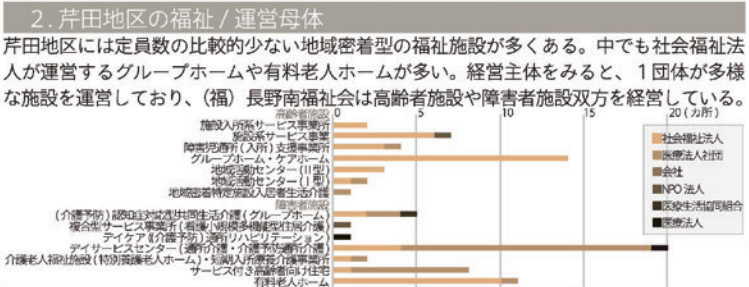
長野市芹田地区は中小の高齢者施設が多く、多種の公共施設も整った良好な住宅地である。一方で旧来の街道、小さな道や水路も多く、散歩に適したまちである。こうした「道」のポテンシャルを生かし、あともう少し何かを加えたら、健康維持に必要な歩行距離を高齢者に提供できる。歩きたくなる、歩いて楽しい「道づくり」は高齢者だけでなく多くの住民にとって地域資源の見直しとなり、このまちに住むことの意義に繋がる。

長野県長野市稲葉 1677-1(グループホーム稲葉前)

1. 高齢者の健康 × 歩く

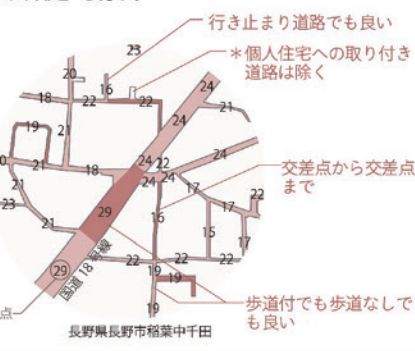
厚生労働省が推進する「健康日本 21」運動では、高齢者の日常生活における1日当たりの歩数目標を男性で6,700歩、女性で5,900歩としている。これを高齢者の1日の歩行距離の現状と比較すると、男性女性共にあと1,300歩(650-800m)が必要である。健康寿命促進のために、楽しく歩きたくなる散歩道を提案する。

※出典 厚生労働省健康日本21(第2次)の推進に関する参考資料/平成24年7月/厚生労働省健康日本21(第2次)の推進に関する参考資料/平成24年7月/厚生労働省健康日本21(第2次)の推進に関する参考資料/平成24年7月



3. 散歩道のための『いいね評価』

■評価単位の抽出
芹田地区の道の中で、散歩には適さない道を除いた全ての道を交差点で区切ったところ、2,390カ所、全長約130.4kmとなった。これらを評価単位として『いいね評価』を行う。



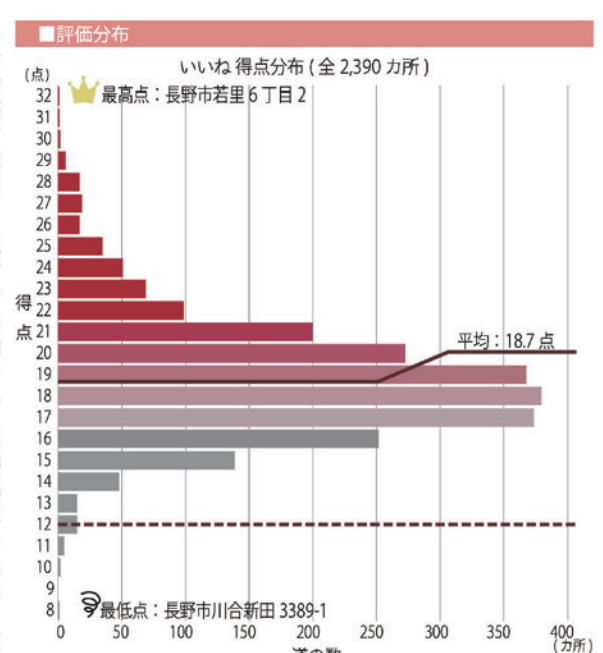
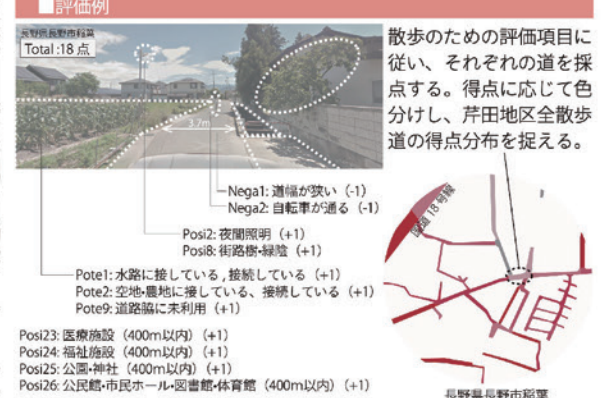
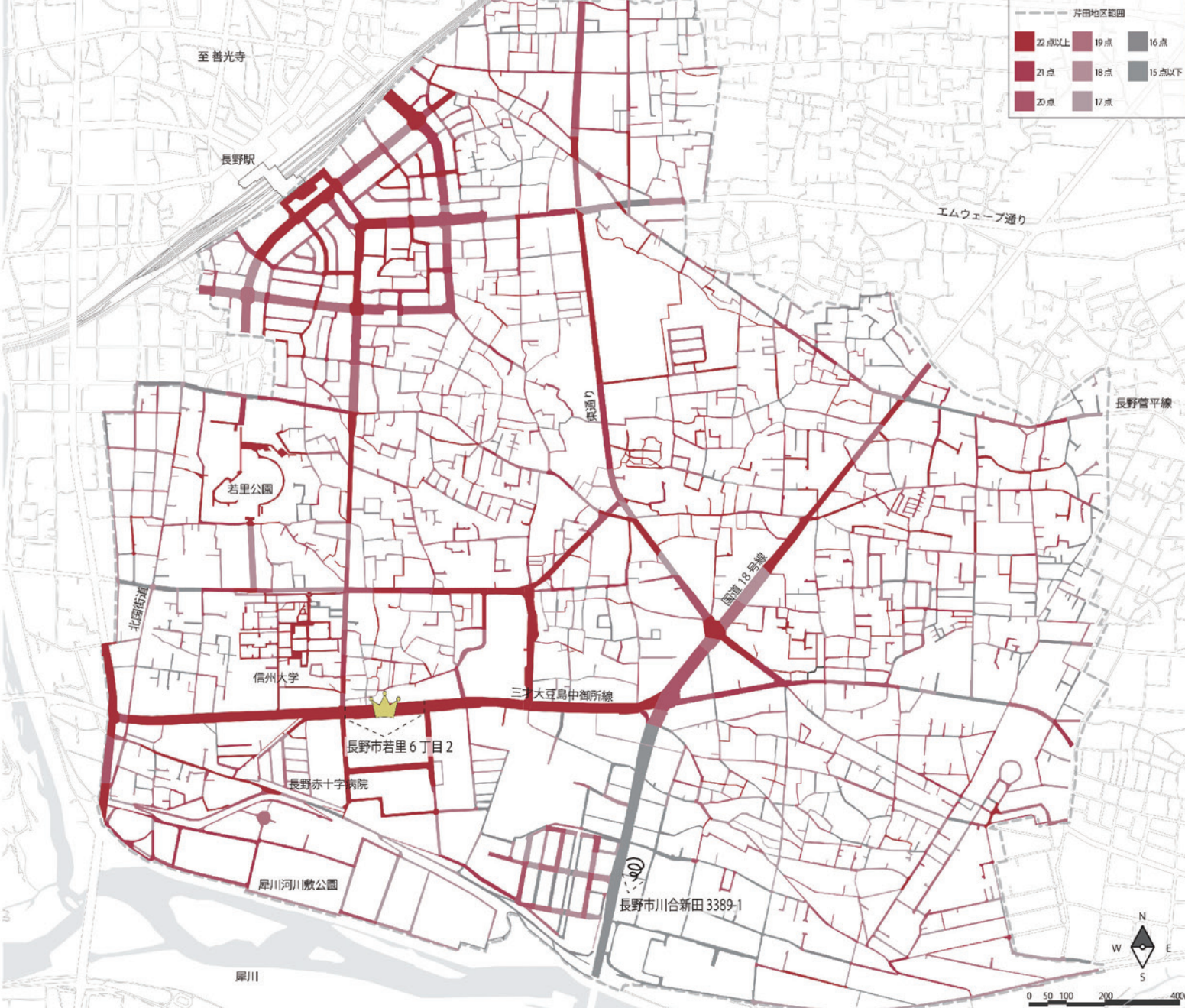
■散歩のための評価項目

高齢者のための歩行環境整備に関する研究に竹嶋らのバリア評価があり、これを参考に「芹田地区における歩きやすさと歩行意欲向上のための道改善可能性」を導くための評価項目を提案する。歩きやすさや意欲を上昇させる要素を【ポジティブ】、下降させる要素を【ネガティブ】、さらに現状未利用であっても今後散歩道に貢献可能な要素を【ポテンシャル】として項目立て、評価を行う。

項目	評価	項目	評価
【ネガティブ】	-12	【ポジティブ】	28
Nega1 道幅が狭い(歩道のない4m以下車道、2m以下の歩道)	-1	Pos11 歩行者専用道	3
Nega2 自転車道	-1	Pos12 歩道	1
Nega3 急勾配(歩道、車道、側道、など)	-1	Pos13 歩道が車道より高い(約2cm以下)	3
Nega4 障害物(看板、電線、柱、など)	-1	Pos14 歩道と歩道の間に溝・生垣	1
Nega5 十字路	-1	Pos15 手すり	1
Nega6 車の速度が速い	-1	Pos16 一方通行	1
Nega7 交通量が多い	-1	Pos17 誘導ブロック	1
Nega8 歩道橋・地下道がない	-1	Pos18 自転車の分割	1
Nega9 スロープ・エレベーターがない	-1	Pos19 夜間照明	1
Nega10 オープンな側溝(深なし、根なし)	-1	Pos20 街路樹・緑陰	1
Nega11 急坂・長階段	-1	Pos21 横断歩道	1
Nega12 空き家がある	-1	Pos22 公共トイレの整備	1
【ポテンシャル】	10	Pos23 福祉・洋式・スロープ・手すり	1
Pote1 水路に接している、接続している	1	Pos24 多目的トイレ・誘導ブロックが揃っている	1
Pote2 空地・農地に接している、接続している	1	Pos25 休養所	1
Pote3 公園に接している、接続している	1	Pos26 歩道に設置された外構の景観(生垣・緑木)	1
Pote4 学校・公民館に接している	1	Pos27 噴水・数寄造(400m以内)	1
Pote5 福祉施設に接している	1	Pos28 医療施設(400m以内)	1
Pote6 歩行者専用道に接続している	1	Pos29 福祉施設(400m以内)	1
Pote7 スクールゾーンである、接続している	1	Pos30 公民館・神社(400m以内)	1
Pote8 緑陰・短階段	1	Pos31 公民館・市民ホール・図書館・体育館(400m以内)	1
Pote9 道路幅に未利用地	1		
Pote10 行き止まりの道	1		

- *1) 竹嶋祥夫：高齢者のための歩行環境整備に関する研究/日本建築学会近畿支部研究報告集第611号/2007/6
- *2) 住友つみ、竹嶋祥夫/高齢者のための歩行に関する研究/日本建築学会計画系論文集第45号/2005/5
- *3) 全項目を+1点または-1点で評価しているが、歩行者専用道路と歩道は重複しないため、歩道に関する3項目と歩行者専用道路を同等とみなし、歩行者専用道路に3点評価を与えている。

4. 芹田地区散歩道いいね評価



芹田地区のいいね評価単位 2,390カ所のうち、最高得点は若里6丁目2(県道372号線)の32点であり、最低点は川合新田3389-1の8点であった(全評価項目50/全項目38、一項目12であり、50点満点となるよう採点)。採点結果は正規分布に近く、平均18.7点であった。つまり、何らかの【ポジティブ】あるいは【ポテンシャル】をやや多くもつ道が芹田地区では主流と言え、より有効な散歩道への改善を期待できる結果であった。

5. 散歩道ネットワークのための操作

道の評価結果から、【ネガティブ】を消す操作、【ポジティブ】を加えるあるいは増やす操作、【ポテンシャル】を生かす操作を提案する。さらに、散歩するきっかけとなる『新たな目的』、散歩を地域に根付かせるための『人的資源の発掘』『テクノロジーと運用』を加えることで、高齢者だけでなく様々な世代にとって魅力的な散歩ルート創出する。

■12 散歩ルートの決定

芹田地区における 2,390 カ所の得点分布の結果に各操作を与え、A から L までの回遊型の散歩ルートを提案する。いずれのルートも高齢者施設や福祉施設、病院、教育施設、公民館など多数の施設を通過し、なかでも経営主体が同一の施設が2館以上含まれることから連携の強化が期待できる。また、ルートどうしは高齢者施設や福祉施設を結節点に3ルート以上選択できるようになっており、全 12 ルートがネットワーク化されている。それぞれのルートはポテンシャルの生かし方や操作によって個性が与えられ、ショートカットコースも含まれ、体力や趣味嗜好に応じた散歩道となっている。

新たな目的
ネガティブ要素を削除
ポテンシャルを利用

(福)長野南福祉会
利用主体
- 長野南福祉会
- 特別養老ホーム 栗田の里
- さいわい荘
- さいわい荘2号館
- さいわい荘3号館
- さいわい荘4号館
- さいわい荘5号館
- さいわい荘6号館
- 社会福祉法人長野南福祉会 栗田園

(福)産家
- ワイズ建設
- シェアハウス産家
- ハートフルマライ
- ビンディ
- 社会福祉法人産家ノーマライビズ

(福)長者会
- 長者会
- 長者会2号館
- 長者会3号館
- 長者会4号館
- 長者会5号館
- 長者会6号館
- 社会福祉法人長者会ノーマライビズ

- A: 1,560m → 史跡コース (神社の境内で休憩)
- B: 4,480m → 水路コース (長い水路沿いの多様な歩行路)
- C: 3,350m → 遊歩道コース (遊歩道で公園や神社が結ばれている)
- D: 4,230m → 公園1コース (複数公園をつなぐ道)
- E: 1,780m → 公園2コース (若里公園内で散歩)
- F: 1,290m → 病院コース (芹田地区の福祉の中心)
- G: 1,610m → 大学コース (信州大学内を回り、学生と関わる)
- H: 2,750m → 河川公園コース (犀川公園でアスレチック)
- I: 2,250m → 大通りコース (横断歩道で社会の機能体験)
- J: 2,430m → 教育機関コース (幼稚園、中学校、高校の境を通る)
- K: 3,580m → 地下道コース (地下道の階段で上下運動)
- L: 3,300m → 市民農園コース (住宅地にある畑や無人販売所を利用)

ショートカットコース
水路の歩行者道に侵入コース内の公園や公民館を通過するような散歩道になっている

高齢者施設
障害者施設
病院
教育施設
公民館
公園
商業
神社

■12 散歩ルートの決定

高齢者施設
障害者施設
公園
公民館
商業
神社

- 側溝蓋
植木ポットなどで側溝の落下防止
- 幅員拡大
歩道の確保・拡充
- 歩行しやすい舗装に変更
- 屋根付き休憩所を増やす
- ベンチの更新
- 植樹して緑陰を増やす
- 花壇整備
- 市民農園
- 誘導ブロックの整備
- 水飲み場の設置
- 適切にゴミ箱の設置
- 土地をつなげる
隣り合ったレベル差のある土地を利用
- 塀の階段で上下運動
- 塀の Slope で上下運動
- 水路にデッキを渡す
- 水路に横をかける
- 水路沿いの草地を歩道に
- 塀方で休憩
- 小学生と遊ぶ
- 大学生ボランティア
- 塀方でスポーツ観戦
- ローカルガイドブック
「ちょっとここまで、芹田散歩」
- 畑の脇で無人販売
- 棚ギャラリー
- ポケットパーク
- 自販機+見守りセンサー
運送のヘタ地を有効活用
- 芹田散歩グッズ (帽子・水筒・置き杖)
散歩中の課題を向上

■12 散歩ルートの決定

6. 提案 散歩ルート「教育機関コース」

教育施設の隣接する寺境内に休憩所をつくり地域の交流場をうむ
長野市稲葉 2272

側溝に植栽をおき道に彩りを与える
長野市稲葉母袋 787-1

水路上の無人販売所が新たな散歩の目的地となる
長野市稲葉 766

START & GOAL
約 2,430m の散歩

自転車の専用道が安全

学生アパートのベンチで交流

境内でひと休み

部活の横で機能訓練

寺の休憩所

まちの横で機能訓練

文化学舎長野
中学・高等学校

地域活動支援センター・
グループホーム 希来里

地味な坂を越えよう

三角公園で給水

見守りカメラのある地下道

悪路を整備

歩きたれたら道路脇の自販機から施設へ連絡可能

水路上で休憩

住宅所せりた

水路を渡って無人販売所へ

ゆるやかな坂を手すりや緑陰で補助

NHK 長野放送局

幅の広い水路の上に東屋を設置し散歩道の休憩所とする
長野市稲葉 上千田 20

掲示のある塀に子どもや障害者の作品ギャラリーを設ける
長野市稲葉 上千田 125-1

農地に沿った休憩所が散歩と農作業を支える
長野市稲葉母袋 777-1